

令和2年度 清友幼稚園 学校評価 自己評価

作成：清友幼稚園

1. 園の教育目標

幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育をめざしている。教職員との信頼関係に支えられた活動、直接体験、友だちとのかかわりを通じて、個々の幼児が情操豊かで、良き生活習慣や人間関係に向かう意欲や態度を培う保育に取り組む。

本園ではめざす教育目標として次の3項目を掲げる。

1. 心身共に健康で情操豊かな子どもに育む。
2. 誰とでも手をつなぎあっている子どもに育む。
3. 人の話がしっかり聞ける子どもに育む。

2. 令和2年度、重点的に取り組んだ目標・計画と自己評価

評 価	A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分でない D 取組が不十分である
-----	---

目標・評価項目	取組み内容	取組み状況	評価
1, 教育・保育内容の充実	(1) 幼稚園型認定こども園として、幼稚園として取り組んできた内容に加え、保育を必要とする園児の増加に伴う、組織・体制の再構築に取り組む、教育・保育の原点を見失わず、さらなる充実を図る。	1号園児 230名、2号園児 19名の 249名。新型コロナウイルスの影響で、1号園児については4月、5月は臨時休園となったが、2号園児と、1号でも保育の必要な園児は出来るだけ受け入れるように努めた。 無償化に伴い保育が長時間になる園児が増加しており、感染予防で密を避ける為にも、預かり保育の教室を増やして対応した。	B
	(2) 教職員の信頼関係を築き、良好な人間関係の構築を大事にする。フリー教員と担任教員の学年団体制を強固にし、保育の援助指導面と管理面の分担と連携を図る。 要支援児についても、他機関との連携を強め、質の高い保育を目指していく。	学期ごとに全教員でカンファレンスを行って、フリーと担任とでうまく連携が取れるように、教員の配置などにも配慮した。 支援を要する園児数は年々増加しているが、「いちよう学園」、「子育て支援みらい」等、専門の施設と連携を取り、要支援児其々について訪問支援など詳細な指導を受けることができた。	A

<p>(3) ①指導内容の充実</p>	<p>音楽・絵画・体育・英語に引き続き力を入れると共に、従来の教育課程に専門講師の指導計画をスムーズに組み込み、より質の高い教育内容を目指していく。一人一人の園児の特性に留意しつつ、新教育要領の幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を育てるようなカリキュラムの改善に努める。</p>	<p>運動会、音楽会、絵画展など、新型コロナ対策のため、密にならないように、学年ごと、クラスごとに分散する、内容を変更する等、従来とは違う形での実施となったが、園児達は目標を持って取り組んで無事に開催することが出来た。運動会は学年ごとに3日間、組み体操を和太鼓の演奏に変更、音楽会はコロナの状況の悪化で急遽無観客としたが、ビデオを撮影し配信した。絵画展は学年ごとに3週間開催し、毎日の入場者数を制限した。</p>	<p>B</p>
<p>②保育環境の充実</p>	<p>園庭の樹木・遊具の整備を行う。季節ごとに花の種蒔・植栽をおこない、自然教育の環境を整える。蔵書・楽器の充実を図る。</p>	<p>ブロック塀の改良工事後の園庭の植栽などの造園工事が終了し、臨時休園後に園庭開放などから保育を開始することが出来た。夏には蝉やトンボを追いかける元気な子どもたちの姿があり、広くなった畑で、苺・ジャガイモ・キュウリ・トマト・枝豆・稲・人参・大根等様々な野菜を育てて収穫することが出来た。保護者会園芸委員の協力を得て、芋ほりを実施した。絵本、キーボード、マリンバ等の楽器を購入した。</p>	<p>A</p>
<p>③預かり保育の充実</p>	<p>長時間の預かり保育利用のためのプログラムの充実化を図る。1号認定児についても、預かり保育・早朝・延長保育を利用しやすい体制の整備を図る。</p>	<p>コロナ対応で1室の園児数を制限しなければならぬが、新2号・新3号への補助などで希望者が増加しており、各学年の保育室も利用し、担任も当番制で手伝って、希望者の受け入れを行った。</p>	<p>B</p>
<p>④食育に対する取り組み</p>	<p>1号認定児については給食設定は行なわないため、保護者に対してお弁当づくりの意義を伝え、食育に関する必要な情報提供を行なう。</p>	<p>今年度はコロナ対応のため、収穫した野菜を食べたり、会食を行ったりが出来なかったが、年長児が田植えをし、収穫できたお米で飯ごう炊さんを行うなど、新しい取り組みも行えた。今後も、給食・お弁当に関係なく、保護者にも食育の情報提供を行っていく。</p>	<p>B</p>

⑤徒歩通園の 取り組み	バス通園をおこなわず、保護者には徒歩通園の意義を伝え、子どもたちの健康づくり・親子関係の育みを目指していく。	自転車通園が多いが、保護者には大阪府の条例や交通マナーを守って登園していただくよう繰り返しお手紙で啓発し、園児に対しては、交通安全教室を開催した。引き続き徒歩通園の意義を伝えていく。	B
⑥教員の指導力の 向上	園内外の研修の充実を図り、教員の指導力向上を図る。	本年はコロナ禍で、園外の研修の中止が相次いだ。オンラインへの変更で研修機会が増えた場合もあり、たくさんの研修情報を教員に提供できた。専門機関との連携の中で、担当指導員とのカンファレンスなどで得た、特別支援教育に関する知識や情報を、教員間で共有した。休園で自宅待機の期間中もオンライン研修を実施し指導力の向上に努めた	B
⑦小学校等との 連携	卒園児が就学予定の地域小学校（主に6校）と連携を深め、小1プログラムに対応していく。地域の中学校・高校等の職業体験の受け入れを行う。	地域の中学校・高校の職業体験や小学生との交流はコロナ対策のため中止となったが、幼保小連携研修に参加し、就園前に幼稚園で取り組むべき課題について理解を深めた。就学前に地域小学校への引き継ぎを5月頃から開始している。	B
(4) 教職員の育成・ 評価・能力開発を図る	定期的な個人面談・園内研修・自己評価を通じて、教職員の能力向上を促す。	学期ごとに個人面談を行い、悩みや課題を聴取している。それぞれの個人行動目標シートに年度目標、学期目標を設定させ、具体的な行動、振り返りを記録させ、自己評価をさせることによって、能力、資質の向上を図った。教育実習、インターンシップを積極的に受け入れ、後進の指導にあたった。	B

2、園の施設、設備、遊具、行事などの総点検	<p>(1) 施設、園庭、設備、遊具などの安全を、常時定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善していく。屋上の改修防水工事を行う。照明のLED化を進める。</p>	<p>屋上の改修防水工事を行った。安全な低木を中心に、園児が自然に親しめるような植栽を行った。日陰が少なくなったため、大型のテントを購入した。</p> <p>施設、園庭、遊具の専門業者による遊具の安全点検を行った。また、全職員が常時、子どもの安全面で問題のある箇所について報告し、対応している。</p> <p>LEDについては今後も進める。</p>	B
3、安全管理体制の整備、強化	<p>(1) 火災、災害などの発生に際して園児、教職員をはじめ園内の安全を確保するために、通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段のマニュアルを改善し、徹底する。</p> <p>様々な場合を想定した防災訓練を毎月行う。非常用の水・食料の備蓄を行う。</p>	<p>学校安全委員を置き、最善の通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段をマニュアルにし、さらに確認し合っている。災害時の様々な状況を想定して、毎月訓練と反省会を行っている。消火器の使用、消火栓の放水訓練を実施した。</p> <p>非常持ち出し用の備品を整備した。災害時用の水やビスケット等をローリングストックとして備蓄している。</p> <p>非常用発電機を購入、電話回線用バッテリーを設置した。</p> <p>ALSOK による救急救命の研修を行い、AED の買い替えを行った。</p>	A
	<p>(2) 不審者、侵入者などから園児をどう守るか、防御・連携体制を強化する。</p>	<p>監視カメラ、警備員による不審者対策を行っている。園内で2回の訓練の他、ALSOK によるさすまたの使用法の訓練を行った。</p> <p>保護者証の携帯の徹底に努めた。</p>	B
4、子育て支援の実施	<p>(1) キンダーカウンセラー事業として、専門家を招聘し、在園児であるなしに関わらず地域の子どもの発達に関する相談に引き続き応じていく。</p>	<p>毎月カウンセリングの日を設け、保護者だけでなく、地域の子育て世帯や教職員の相談にも応じてもらっている。</p> <p>臨時休園中も新型コロナ対策を行いながら、キンダーカウンセリングを実施した。</p>	A

	(2) 未就園児の親子登園（さくらんぼ組）を実施し、集団生活の体験、子育ての情報提供や、参加者間の交流の場の提供を行う。	4月・5月の臨時休園時以外は、未就園児親子登園（さくらんぼ組）を実施し、毎回6～7組の親子が参加した。	B
	(3) 絵本の貸し出し、読み聞かせ会、子育て相談を実施する。	毎月2回、在園時、卒園児、未就園児に図書室の絵本の貸し出しを行った。保護者有志の絵本の読み聞かせ会は、コロナ対策のため行えなかったが、インスタグラムによる絵本の紹介への取り組みに協力した。 主幹教諭による相談を水曜以外にも随時行い、保護者や園児のコロナ禍での不安や、その他の悩みに対応した。	B
	(4) 課外教室の充実を図る。	さくら英語学院、らいおんスポーツクラブ、学研みらいの課外教室も好評で、感染防止に留意しながら開催されている。	B
5、教職員の勤務、給与について	(1) 従来の給与体系を一定維持しつつ、教職員の職務能力に応じた体系に改定していく。時間外労働を抑制し、有給休暇の取得を促進する。 (2) 認定こども園移行に伴う土曜日の開園について、保育担当教職員と教育担当教職員の負担の公平性に配慮する。	新型コロナウイルス感染防止のための臨時休園中の教職員の勤務については各日数名をシフトで出勤とし、後は自宅待機として、給与については全額支給した。昨年に引き続き処遇改善に適切に対応した。 変形労働時間制を実施し、労働環境の改善と、時間外労働の削減に努めた。時間外労働については今年も減少しており、パート職員も含め、平均5日以上の有給休暇を取得した。 土曜専属の教員を確保し、預かり保育担当教員の休憩時間の取得が容易になった。	A
6、園に対する保護者の満足度把握、情報共有及び情報公開	(1) 私学の独自性に配慮しつつ子育て中の保護者が期待する幼稚園像を確認し、地域社会に求められる本園の将来ビジョンの策定は引き続き行なっていく。	保護者アンケートだけでなく保護者から直接、意見を聞き、保護者が期待する幼稚園像を把握しつつ、自治体と密に情報交換しながら園の運営を行った。コロナ対策については、保護者によって様々な考え方がるので、各々に対して、園の取り組みの説明に努めた。	B

	(2) 保護者と教育・保育状況の情報共有をしていく。	降園時には、保護者ひとりひとりに保育状況を伝えている。運動の授業の保育参観を実施した。また、従来は教室で行う保育参観を園庭で行った。行事などの情報の発信に、一斉メールを活用した。	B
	(3) 本園ウェブサイトにより、自己評価及び会計情報を公開していく。ホームページで園の様子や子育て情報の発信に努める。	本園の自己評価・会計情報をウェブサイト公開した。園での行事などのブログ発信に努めた。	B
7、新型コロナウイルス等の感染防止に対応する	(1) 園内清掃・消毒の体制を整える	文部科学省・厚生労働省・大阪府・八尾市からの指示に従い、新型コロナウイルス感染防止の為、適切な清掃・消毒を行った。大阪府・八尾市・取引業者・保護者などの協力を得て、必要な消毒薬、マスクなどを確保することが出来た。エアーバスターを購入した。有志のご厚意で一部トイレとおもちゃに光触媒のコーティングを施した。保護者に毎日園児の健康観察カードの提出をお願いし、来園者には検温と消毒を実施している。	B
	(2) 行事の実施や実施内容・方法について検討する	遠足については、春は中止し、秋にバスを使わず、避難訓練をかねて徒歩で刑部公園まで、又年長は電車で久宝寺緑地へ行った。どろんこ遊び、プールは、感染防止の為に中止、間隔を開けてのビニールプールでの水遊びに変更した。運動会は各学年ごとに園庭で3日間入場者も制限して行った。音楽会は各学年ごと、ビデオ撮影したものを配信して、後日DVDを配布した。絵画展は各学年ごと1週間ずつ展示、入場者の数を制限して行った。毎月の誕生会・クリスマス会・人形劇等も、各学年ごとに行った。保育参観については、園庭で行い、保護者も各家庭1名と制限した。来年度も、様々な場合を想定して複数の計画を練り、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら判断していく。	B

	(3) 休園中の連絡・保育方法 (Web 配信等) について検討する	臨時休園中は、担任からの定期的な電話での状況把握、絵本・ドリル・お知らせなどの郵送、学年ごとに、歌・手遊び・折り紙・ドリルの解説などの動画の配信で対応したが、他に出来ることなど今後に向けて検討していく。休園の代替えとして夏休みに自由保育を実施した。	B
--	------------------------------------	--	---

3. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果及び今後の課題

B	<p>今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、行事については実施が難しいものもあったが、実施の時期や方法を変えて行い、概ね目標や計画は達成するように努めた。時期を見直したことで、田植え、稲刈りの後に、飯ごう炊さんをする事が出来たので、今後も保育内容の改善を検討し、様々な状況に対応出来るよう具体的な計画を立て、実行していきたい。絵本の貸出しも定着し、さらに図書の実践に努める。英語、らいおんスポーツクラブ、学研の課外教室も好評である。要支援児については、専門機関との連携も年を重ねるに従って、教員の知識や理解も深まっているので、年々人数は増加しているが、全園で協力して教育・保育に対応していきたい。今後も教職員の教育・保育の質、安全安心の意識の向上にさらに取り組んでいく。子育て支援の親子登園の回数を増やし、八尾市の広報等で周知していく。八尾市が2歳児の保育料を無償化したことで、ますます2歳児の入園の要望が増しているため、令和4年度よりの受け入れを検討していく。</p>
---	---

4. 学校関係者評価委員会の意見

<p>今年度の自己評価の結果は、A段階5項目、B段階19項目、総合的な評価はB段階とのことであった。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策でこの委員会も2回しか開催できなかった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応については、委員会でも丁寧に説明していただいた。その結果、安心・安全な園の教育活動・保育活動が実施できるよう教職員間で議論を重ねられ、行事の中止・見直し、消毒・清掃の徹底などについて様々な工夫を行い、園児や保護者等の要望に対応することができたと理解した。なお、委員会では『新型コロナウイルス等の感染防止に対応する』という評価項目を新しく設定していただき、園の取組みを自己評価していただいた。</p> <p>また、保護者の評価アンケートについては、92%の保護者から回答があった。このアンケート結果では25項目中、21項目が90%以上肯定的な回答であった。</p> <p>以上を踏まえると、本園は教育目標に掲げられている幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育に真摯に取り組まれ</p>

ていると認識した。

従って、本委員会としては協議の結果、各評価項目に対する自己評価は妥当であると判断した。
次に、A段階別の各取組み状況について意見を述べる。

A段階の評価であった5項目について意見を述べる。『教育・保育内容の充実』については、学期ごとに情報交換を行うとともに、フリーと担任との連携がうまく取れるよう教員を配置したとのことであった。今後も、教職員間の活発な意見交換ができるような指導體制の充実に努めていただきたい。『保育環境の充実』については、保護者会園芸委員さんの協力を得て、行事を実施されたとのこと。行事等の実施にあたってはこれからも保護者の連携・協力を大切にして取り組んでほしい。『安全管理体制の整備、強化』については、警備会社の協力による救急救命についての研修をされたとのこと。専門家からの指導を日々の業務の中でも活用できるよう心の備えをしていただき、引き続き、園児たちの安全を守る取組みをしてほしい。『子育て支援の充実』については、引き続きキンダーカウンセラー事業を実施して、地域の子育て支援センター的な役割を担ってほしい。『教職員の勤務、給与について』は、認定こども園移行に伴う職員の処遇改善に適切に対応しているとのこと。今後も、教職員が幼児教育にやりがいや魅力を感じることでできる職場環境の醸成を願っている。

最後に、『新型コロナウイルス等の感染防止に対応する』について、意見を述べる。本年度は4月・5月の臨時休園もあり、行事等の中止や見直しをせざるを得ない状況の中での教育活動の展開であったと推察する。そのような厳しい状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行い、すべての園児や保護者等の要望に応える教育活動を行っていただいたと認識した。次年度も先行き不透明な状況が続くかもしれないが、教職員が一体となって、園児にとって、その保護者にとって何が大切かを改めて考察していただくとともに本園の教育目標の達成をめざした教育活動に尽力されることを願っている。

5. 財務状況

公認会計士による年3回の監査において、より安定した経営に向かう努力をしていること、財務状態は適正であることについて評価を受けている。

令和2年度清友幼稚園評価アンケート結果

先日は、幼稚園評価自己診断に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回、229名の保護者の皆様から回答を頂戴しました。保護者の皆様からの評価を真摯に受けとめ、園の経営や指導法の見直しにつなげていきたいと考えております。幼稚園の教育方針や教育内容をご理解いただいた上で、その取組を評価していただき、その結果を公表し幼稚園を開くことで、さらなる教育充実を目指してまいります。今後とも教育活動推進のためにご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

	そう思う おおむね思う	やや思う	あまり思わない	そう思わない	
1 子どもは幼稚園に喜んで通園している	194			28	7
2 教育方針や教育内容・活動についてはよく分かる	161			64	3
3 園は一人一人の子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助に努めている	142			81	6
4 園は子どもの自主性や意欲を大切にしようと努めている	155			70	3
5 園は子どもたちが基本的な生活習慣が身につくように努めている	195			31	3
6 園は子どもたちが様々な遊びや活動を通して、集中して話を聞く態度を育てている	186			42	
7 園は子どもたちが自分の思いが表現できるように努めている	144			78	6
8 園は子供たちが自然とのふれあい、直接体験を通して、命の大切さに気づくように育てている	156			62	8
9 園は子どもたちが友達の思いに気づき、互いに認め合えるように育てている	160			60	8
10 園は集団でのきまりを守る態度を育てている	196			31	2
11 園は小・中学校、高校、地域の人々との交流を通して人とかかわる力を育てている	99	85	33	6	
12 子どもは園内外の行事に喜んで参加している	188			31	7
13 参観、懇談会、様々な行事で、子どもの様子や育ちがよくわかる	119			88	12
14 園内外は清掃が行き届き、衛生的な環境作りに努めている	200			25	
15 園は子育ての参考になる情報の提供に努めている	109			93	23
16 園はホームページなどで情報公開することに積極的である	113			85	24
17 園は安全管理に努め、危機管理意識向上に努めている	189			37	
18 園は個人情報保護に努めている	174			49	4
19 園から出す手紙はよく分かる	159			53	11
20 子どものことを園や教員に相談しやすい	152			62	13
21 保護者会活動が活発で活動の内容がわかりやすい	88	93	31	13	
22 園は担任だけでなく、園全体で子どもの保育に取り組もうと努めている	177			45	7
23 地域の幼稚園として子育て支援に努めている	126			80	19
24 家庭での基本的な生活習慣を身につけることができた	164			60	4
25 家庭で子どもとコミュニケーションを図ることができた	184			44	

回答数 229